

winmail.dat 添付ファイルのトラブルシューティング

目次

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[winmail.dat 添付ファイルのトラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

この技術情報は Microsoft Exchange インターネットを利用するとき Exchange サーバ管理者かエンドユーザがどのように winmail.dat 添付ファイルはインターネットユーザに郵送するコネクタを送信されることを防ぐことができるか記述します (IMC)。この添付ファイル ファイルは unscannable として Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) を通って処理されたとき見られるかもしれません。

背景説明

マイクロソフトのサポートから、エンドユーザが Exchange Windows または Outlook クライアントからのインターネットにメールを送信するとき、「Winmail.dat と呼ばれる添付ファイルはメッセージの終わりに受信者のクライアントがリッチテキスト フォーマット (RTF) のメッセージを受け取ることができない場合自動的に追加されるかもしれません。Winmail.dat ファイルはメッセージのための Exchange サーバ RTF 情報が含まれ、受信者にバイナリファイルとして現われるかもしれません。それは非交換サーバ受信者に役立ちません」。

またマイクロソフトのサポートからリッチテキスト フォーマットを表示できない。「Microsoft Outlook を使用しないかまたは豊富なテキスト形式わかっているクライアントアプリケーションが受信者およびそのリッチテキスト フォーマット 情報が含まれている Winmail.dat ファイルは電子メール メッセージに接続されます」。

詳細については次のマイクロソフトのサポート技術情報を検討して下さい:

- [Outlook を使用する送信側から受信されたメールは Winmail.dat 添付ファイルが含まれていません](#)

winmail.dat 添付ファイルのトラブルシューティング

winmail.dat 添付ファイルは非交換クライアントに無益です。ESA および Sophos アンチウイルス スキャンから、ファイルは unscannable 評決という結果に終わります。これは ESA か Sophos の結果としてエラーまたは問題ではないです。unscannable 評決はファイルのオリジナル作成およびエンコードが支配された原因です。

マイクロソフトのサポートは添付ファイルが送信されることを防ぐために詳細を提供します。次のマイクロソフトのサポート技術情報を検討して下さい:

- [電子メール メッセージ形式が Outlook のインターネット電子メール メッセージにどのように影響を与えるか](#)

- [Outlook 2007 年および 2010 のメール添付ファイルとして送信される Winmail.dat](#)

Sophos サポートはまた次の winmail.dat 添付ファイル問題をカバーします:

- [Winmail.dat ファイルとは何か。](#)
- [TNEF によって符号化される添付ファイルは Sophos UTM メール暗号化によって復号化することができません](#)

関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [Cisco セキュリティ管理アプライアンス - エンドユーザ ガイド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)